



第10回入学式を挙

令和4年4月8日（金）に八郷中学校の『第10回入学式』を挙行いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため、新入生と保護者、教職員のみでの実施となりましたが、希望を胸に入学してきた127名の新入生の思いが伝わる式となりました。特に、「新入生呼名」の場面では、出会ったばかりの担任の先生の呼名に「はい」という大きな返事で答えている新入生の姿から、「中学校生活を充実させたい!」という強い思いが感じられ、とても頼もしく思いました。本校は8校の小学校から集まってくるので、最初は戸惑う事もあると思いますが、体育祭や文化祭など、中学校ならではの行事を通して、クラス、学年としての絆を深めていってほしいと思います。



新入生へのメッセージ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。6年間の小学校生活に別れを告げ、希望と不安を胸に今日、八郷中学校の門をくぐってきたことと思います。中学校の3年間は皆さんが心身共に大きく変化し成長する3年間です。また、義務教育最後の学校生活になります。3年後に皆さんが中学校を卒業するとき、それぞれが異なる進路を選択することになります。まさに中学校生活は自分探しの時期と言えます。これから始まる中学校3年間でどのように過ごすが、皆さんの進路を左右することになるでしょう。「小学校で学んできた基礎を元に、自分の進む道を自分で考え、自分の手で切り開いてほしい」このように思います。

本校は今年で創立10年目を迎えます。その大切な節目の年に入学してこられた皆さんが充実した中学校生活を過ごすために大切にしてほしい二つのことについてお話をします。

一つ目は将来の夢や目標をもち、挑戦してほしいということです。自分の好きなことは何か、自分のしたいことは何か、そして自分にできることは何か。いろいろな面で問い続けてほしいと思います。人は誰でもよさや取り得をもっています。そのよさを友達や先生方と共に関わりの中で認め合い、高め合っていきましょう。そして、夢の扉を自分の力で開いてほしいと思います。



二つ目は、当たり前なことを当たり前にするということです。具体的には学校生活の中で、時を守り、場を清め、礼を正す。それを徹底してほしいと思います。時を守るとは時間を守るということです。場を清めとは整理整頓や掃除をしっかりと行うということです。そして、礼を正すとは心に響くあいさつや返事をしっかりとするということです。こうした一見当たり前のことを継続し、一つ一つ積み重ねていくことが、皆さんの学力の向上や心の成長につながるものと思います。先輩方と共に夢や目標に挑戦できる学校、当たり前なことが光輝く学校、そんな八郷中学校をつくっていきましょう。

【学校長式辞より ※一部抜粋】